

テスラ(TSLA)

大幅値下げ奏功で納車台数は過去最高水準。EV競争激化懸念も、再生可能エネルギー事業の成長可能性大

ナスダック | 自動車 | 業績フォロー

BLOOMBERG TSLA:US | REUTERS TSLA.O

- 2022/12期4Q(10-12月)は売上高が前年同期比37.2%増、調整後EPSが同40.0%増。大幅値下げが奏功し納車台数が同44%増。
- 販売台数見通しは23年が前期比37%増も、複数年にわたり50%の年成長率。更に、24年と25年の設備投資計画を引き上げた。
- 電力需給最適化のVPP事業を拡大中。家庭用蓄電池「パワーウォール」など再生可能エネルギー事業の成長可能性が注目されよう。

What is the news?

1/25発表の2022/12期4Q(10-12月)は、売上高が前年同期比37.2%増の243.18億USD、Non-GAAPの調整後EPS(1株当たり利益)が同40.0%増の1.19USD。景気減速に伴う消費者の購入意欲減退懸念に対応した大幅値下げが功を奏し、納車台数が同44%増の40万5278台と過去最高に達した。反面、自動車産業の粗利益率は4.7ポイント低下した。前半期比では、売上高が13.3%増、調整後EPSが13.3%増。納車台数が18%増だった一方、自動車産業の粗利益率が2.0ポイント悪化した。

コスト上昇要因は、同社CFOによればリチウムほか原材料の高騰とインフレに加え、テキサス州およびベルリンの工場、および日本のパナソニック(6752)との合弁でネバダ州に建設中のリチウムイオン2次電池工場での生産効率向上のための初期投資のためとしている。

4Qのセグメント別概要は以下の通り。①自動車事業は、売上高が前年同期比33.4%増の213.07億USD。標準車種のモデル3およびYの生産台数が同43%増、高級車種のモデルSおよびXが同57%増。モデルSおよびXの生産台数割合は同0.4ポイント拡大の4.7%となった。②主にエネルギー生成・貯蔵事業を中心とするその他の事業は、売上高が同71.9%増の30.11億USD。太陽光発電容量が同18%増の100MW、エネルギー貯蔵容量が同2.5倍の2462MW/h、貯蔵・サービス所が同19%増764カ所、移動車両サービス隊が同24%増の1584隊、充電スタンド数が同35%増の4678カ所、充電コネクタ数が同35%増の4万2419個と堅調に拡大している。

How do we view this?

同社は今後の見通しについて、今後複数年にわたって50%前後の電気自動車(EV)販売台数の成長が続くと従来の計画を維持した一方、23年は前年比37%増の180万台前後への減速(22年は同40%増)とした。更に31日、新型バッテリーやEVトラック「セミ」増産のため24年と25年の設備投資見通しを70-90億USD(従来計画60-80億USD)へ引き上げた。

同社は太陽光発電設備や蓄電池を一括制御し電力需給を最適化する「仮想通貨発電所(VPP)」事業を拡大中。同社の家庭用蓄電池「パワーウォール」の販売増に繋がると見込まれる。EVについては競争激化懸念があるものの、再生可能エネルギー事業者としての側面は、昨年8月成立のインフレ抑制法による後押しもあり成長加速が期待されよう。

業績推移

※参考レート 1USD=130.09円

事業年度	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12F	2024/12F
売上高(百万USD)	31,536	53,823	81,462	104,499	133,560
当期利益(百万USD)	721	5,519	12,556	13,347	19,530
EPS(USD)	0.21	1.63	3.62	3.89	5.75
PER(倍)	824.86	106.27	47.85	44.53	30.13
BPS(USD)	7.72	9.74	14.13	16.70	22.71
PBR(倍)	22.44	17.78	12.26	10.37	7.63
配当(USD)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(USD) **0.00** (予想はBloomberg)
 終値(USD) **173.22** 2023/1/31

会社概要

2003年設立の電気自動車(EV)メーカー。現CEOのイーロン・マスク氏は2004年に同社へ多額の投資を行いCEOとなった。自動車事業のほか、エネルギー生成・貯蔵事業などを営む。

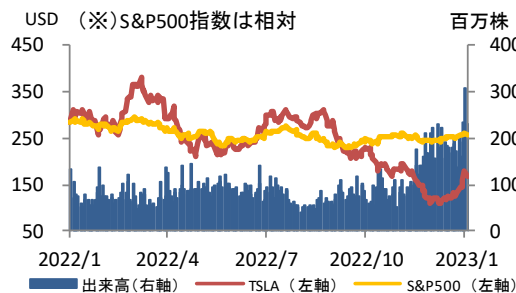
自動車事業は、セダン(モデル3と高級車種のモデルS)とスポーツ・ユーティリティ車(モデルYと高級車種のモデルX)を提供するほか、EVのパワートレイン部品とシステムを他のメーカーに提供している。

「ギガ・ファクトリー」と呼ばれる巨大な工場が中国の上海、ドイツのベルリン、米国内のテキサス州で稼働しているほか、米国のカリフォルニア州にも稼働工場を擁する。自社所有の店舗とギャラリーのネットワークを通じて製品を販売し、同社所有のサービスセンターやサービス・プラス、および同社の移動車両サービス隊に属する技術者を通じてEVに係るサービスを提供する。

エネルギー生成・貯蔵事業は、家庭、商業施設、および電力系統で使用するための充電式リチウムイオン電池システムなどのエネルギー貯蔵製品を提供している。住宅および商業施設向けに太陽エネルギーシステムの設計・製造・設置・保守・リースおよびの販売を行うほか、再生可能エネルギーを販売する。

企業データ (2023/2/1)

ベータ値	1.64
時価総額(百万USD)	548,086
企業価値=EV(百万USD)	532,843
3ヵ月平均売買代金(百万USD)	21,189.6



主要株主 (2023/2)

1. Musk Elon Reeve	13.39
2. VANGUARD GROUP	6.73
3. ブラックロック	5.43

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

2023年2月1日 (TSLA)



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。